

蒲生なかの 郷愁館だより

第1号

2025年夏



運営スタッフのひとこと

蒲生なかの地区の
小さくて大きな日々の変化を
郷愁館の制作・運営スタッフがお届けしていきます

小山田陽

郷愁館の"きごと"・蒲生の"きごと"

朗読劇「みんな一緒にきたかった」を作りました

蒲生なかの地区にあった4つの町内会（旧中野小学校学区）の住民が、その集団移転地について、行政と向き合い話し合った記録をまとめた「朗読劇」を制作しました。両者が苦しみながら「納得のいく選択」を模索したお話に、改めて「話し合うこと」の大変さと大切さを感じました。

7月にこの朗読劇を郷愁館で上映したときには、50名以上の方々に観にきていただきて展示室が満席になりました。

YouTubeで公開中ですのでぜひご覧ください！



西原公園が開園します！ プレーパークとキャンドル慰靈祭を開催

8/24、なかの伝承の丘の前に「西原公園」が開園するのに合わせ、「蒲生なかのプレーパーク」を開催します。公園内でいろんな遊びをしたり、堤防を巨大なキャンバスにしてお絵描きもできます。

夕方からはキャンドル慰靈祭を開催します。井上きみどりさんの篠笛演奏を聴きながら、伝承の丘のまわりにたくさんのキャンドルを灯しましょう。

イベントの詳細はスタッフブログでも告知します！

来館者のメッセージ

郷愁館の自由帳に書かれた言葉を抜粋してご紹介します

- 道路も景色も変わったが、来ればホッとするステキな場所です。中野小、平成12年卒
- 先生が編集した資料を見つけて思わず笑ってしまいました（元廣瀬先生の教え子より）
- 伝承の丘で中野小学校校歌大きな声でうたいました 覚えているものですね！3番までうれしくってなつかしくて涙ぐんでしました。

- 中野小学校（木造校舎）を思いつつ校歌を歌いきました
- アルバムの中に友達や小さい自分を見つけとてもなつかしく思いました

開館当初から誰でも書き込める「みんなの自由帳」を置いています。子どもの字や外国語もあり、特に中野小学校の卒業生や関係者のメッセージから「あってよかった」という温かな想いが伝わります。（運営スタッフ・ヤマキ）

花壇通信

「花壇とお茶っこ」がスタートしました！
展示室前の花壇を手入れし、その後は郷愁館でのんびりお茶っこする会です。

毎月1回、朝9:00から開催。（開催日はスタッフブログでご案内します）

どうぞ気軽に立ち寄りください！（運営スタッフ・大沢）



杜の都バイオマス発電所から

「蒲生なかの郷愁館」の開館から1年半が経とうとしています。様々な不安や心配を抱えながらの出発も、旧蒲生中野地区をはじめとする地元の皆様や制作チームのサポートにより、これまで多くの皆様からご愛顧をいただいてきました。

今後も郷愁館運営を通じ地元繁栄の一助となることを願うばかりですが、引き続き皆様からの厚いご支援をいただきながら、唯一無二の震災伝承施設を目指してまいります。（発電所・青木）